

# バッジシステムセミナー

ボーイスカウト静岡県連盟  
教育本部進歩部会

# スカウティングにおける

## スカウト教育法の原理とは？



# スカウト教育法の原理

- ちかいとおきて
- 小集団の一員となる
- 行うことによって学ぶ
- 主に自然と触れ合う野外環境の下で行われるゲーム、役に立つ技能、地域社会への奉仕を含む参加者の興味に基づいた様々な活動の段階的かつ刺激的なプログラム

と定義

これらは(スカウト教育法)は全ての要素が統合されシステムとして機能するとき、

progressive self educational system

段階的自己教育法

という考え方に基礎がおかれている

基本原則P10



progressive self educational system

## 段階的自己教育法

The most important aim

educate not to instruct

少年が自らの望む(desire)ことを  
一人で学ぶよう引き出すこと(educate)

# スカウト運動の目的？



# スカウト運動の目的

青少年が個人として、責任ある市民として、  
地域、国、国際社会の一員として、  
身体的、  
知的、  
社会的、  
精神的な潜在能力を  
十分に達成できるように彼等の発達に  
貢献することである。

# Better World

もし、我々がよりよい世界を作り出し、社会を改善することに貢献したいならば、必然的にこの社会を作り上げている個人を「改善する」ことである。そして、この改善は個々の完全な発達なしにはありえない。

# 良き市民を育てる(スカウト訓練の)四つの領域



# 良き市民を育てる(スカウト訓練の)四つの領域

- 性格
- 健康と体力
- ハンドクラフトと技能
- 他の人たちへの奉仕

# 良き市民を育てる(スカウト訓練の)四つの領域

- 性格
- 健康
- 技能
- 奉仕

# 良き市民を育てる(スカウト訓練の)四つの領域

- 性格 と 知能
- 健康 と 体力
- 技能 と 手技
- 他の人々への奉仕と市民性

# 良き市民を育てる(スカウト訓練の)四つの領域

- 性格
- 健康と体力
- ハンドクラフトと技能
- 他の人たちへの奉仕

これらを外からではなく内面から  
繰り返し教育すること!!

# よい性格



# よい性格

- 与えられた状況の中で自分の持つ全ての利用可能な力を意識的に使うことができ、自分自身と他の人に責任をもって行動する人

後藤新平

# 後藤新平

## 「自治の人」を作る



# 自治三訣

人のお世話にならぬよう

人のお世話をするよう

そして、報いを求めぬよう

# バッジシステムというツール(道具)



progressive self educational system

段階的自己教育法

進歩

バッジシステム

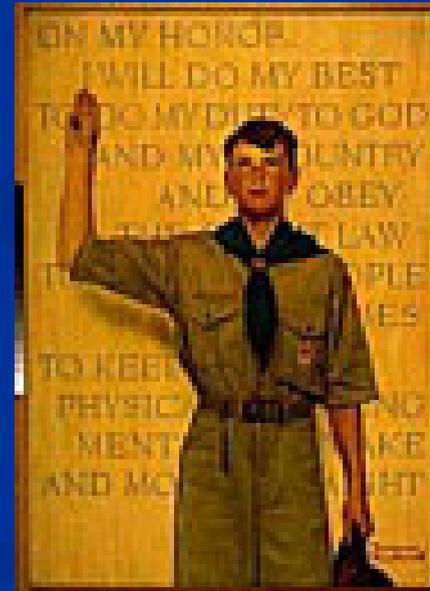
# おきての1

## 1. スカウトの...



# おきての1

1. スカウトの名譽は信頼されることにある。



信用



信頼

**信頼**は我々の倫理面の訓練における  
全ての基礎である

教育システムとしてのスカウティングは、集団に適用されるまでは完全に理論にすぎない。

スカウティングひとつの教育システム P49

教育目標が決定を下したり、結果の責任を負ったりする資質を伸ばすことに関わるならば、模擬実験のような活動では目標を達成することはない。青少年が物事は自分たちが思っていたこととははるかに難しいということが分かるには、自分たちの考え、意見、好みを述べたり、相違をまとめたり、我慢したりすることができるような本物の状況が必要である。責任というものは本物でなければならない。

# 考查

## 隊長の手引き P98～99

- 熟練の基準はわざと不明確にしてある。
- 気おくれしている少年は、一度か二度成功できるようにやりやすくしてもらおうと、もっと努力するようになる。
- 目標は全ての少年に関心を持たせることである。
- バッジシステムが成功するかどうかは、隊長自身とその個人的な扱い方に非常に大きく負っている。

# 考查

## 隊長の手引き P98～99

- ・技能章は、その少年がそれを成し遂げたという事を外部の人に示すものであり、考查を受けた技術に関して熟達した者であるということを示すものではない。
- ・全ての少年が内面から愉快地に、自己能力の開発を行うことを通じて進めていきたいのであって、外部からの公的な指導を押し付けていくことで進めたくない。

# 進歩制度

- 進歩制度では、可能性の最低基準をあげているのである。
- 100点満点でパスしても決してそれが最高ではない。
- 将来伸びる可能性を何%か潜在しているものとする。

# 進歩制度

- 等高線ではない。
- それぞれの個性や発育の度合等を見捨て、いっせいに高さを測るモノサシではない。
- 個人別に測り、個人別に判定するものでなければならない。
- 励ましの尺度であって、ふるい落とすための尺度であっては絶対にならない。

以下 「スカウティングの原点をさぐる」より

# 進歩制度

- いろいろな課目は、その少年の可能性を育てるためのものである。
- 可能性とは、絶対者と人間のとの関連において考えるべき命題であろう。
- もし、人間と人間との関連の上だけにおいて可能性を考えるものであるならば、利己主義や排他心に誘い込むという危険性を生じる。
- 自分のありもしない権力を表現するためにあるのではない。

# 進歩制度

- 自分の可能性は、それがどんなに小さな可能性であってうれしいものである。
- それが、他の人々のために役立つものであるならば、更にうれしい。
- そして、それが進級課目のほんとうのねらいである。

# 進歩制度

- 自分の可能性の発見を喜び、その感謝を神仏に寄せて、神や仏のみわざに参加しようとする念につながる。
- 言い換えれば役立つということが、真の合格と言える。
- これがウッドクラフトの究極のねらいである。

# 教育本部進歩部会構想計画



ボーイスカウト静岡県連盟コミッショナー会議 07.FEB.25

# 富士スカウト県知事表敬訪問



# 教育本部進歩部会

塩田	雅朗
西山	孝司
三枝	邦匡
松田	治
松村	弘
堀内	正治
小坂	一夫

# 現状(憂い)

◇プログラム偏重の傾向

# 現状(憂い)

◇プログラム偏重の傾向

◇スカウト訓育の目指すところの喪失感

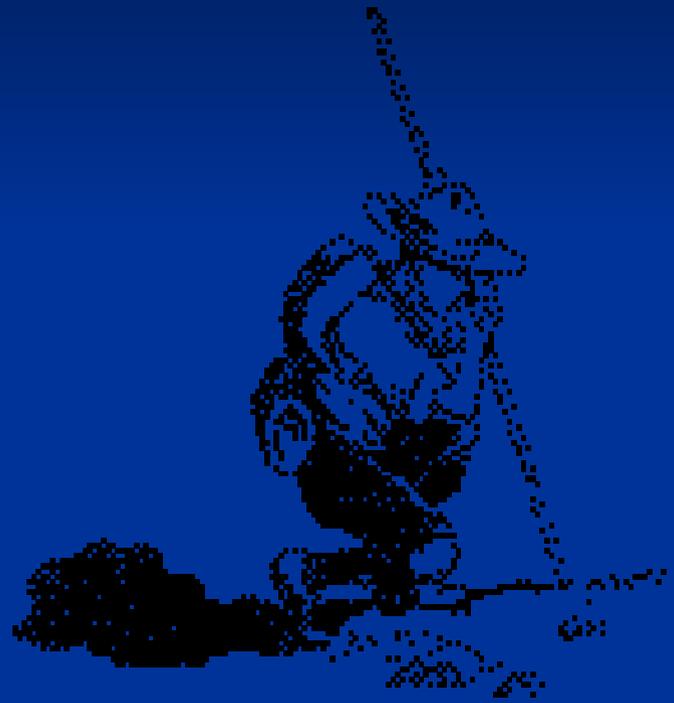
# 現状(憂い)

◇プログラム偏重の傾向

◇スカウト訓育の目指すところの喪失感

◇野外を教場としているにもかかわらず  
本当の野外活動の技術？

# ウッドクラフト



# こうあらねばならないー構想

進歩(バッジシステム)の本質を再認識させる



理解したことを実行に移させる



吟味



実感



腑に落ちる

# 目的

# 目的

県・地区・隊における進歩制度（バッジシステム）  
運用の見直しを実施する過程において  
スカウティングの本質を再認識し  
スカウトプログラムの活性化を図る

# 本年度アクションプラン

## 構想

ベンチャー富士スカウト育成を足がかりに、  
スカウト活動の活性化を図る

# 本年度アクションプラン

## 構想

ベンチャー富士スカウト育成を足がかりに、

進歩制度（バッジシステム）

運用の見直しを実施する過程において  
スカウティングの本質を再認識し

スカウト活動の活性化を図る

# 本年度アクションプラン

## 構想

ベンチャー富士スカウト育成を足がかりに、  
スカウト活動の活性化を図る

- ◇見える富士プロジェクト実施
- ◇進歩制度セミナー開催
- ◇面接の見直しと共通理解
- ◇プロジェクト法セミナー開催
- ◇技能章考査員の見直し
- ◇宗教章研修会の検討と企画立案

# 年度目標

各地区ひとりの富士スカウトを育成

見える富士プロジェクト



# 年度目標

各地区ひとりの富士スカウトを育成

進歩（バッジシステム）の本質を再認識させる



理解したことを実行に移させる



吟味



実感



腑に落ちる

# 地区コミッショナーへの課題

# 地区コミッショナーへの課題

- ・担当コミッショナーの選出
- ・担当コミッショナーとスカウトの選出

進歩制度？

バッジシステム？



この世に生きるすべてのものは、いつか土に帰り、また旅が始まる。

目に見えるものに価値を置く社会と、見えないものに価値を置く社会の違いを思うとき、たまらなく後者の思想に魅かれる。

（星野道夫）

BPはスカウトのつけるバッジになにを托そうとしたのだろうか？



よろしくおねがいいたします

共に

七転八倒

